

自民党政治を終わらせる もとむら、すやま氏宣伝

「腐敗、経済無策、大軍拡、テーパー収入裏金疑惑はこんなに大きな問題にならないか」と話した。また「桜を見る会も『しんぶん赤旗』のスクープだった。政治を終わらせるために力を合わせましょう」と訴えました。

臨時国会閉会翌日の14日、もとむら伸子衆院議員、すやま初美衆院東海比例候補と鈴木せつ子衆院静岡1区候補は、静岡駅前で緊急街頭宣伝を行いました。党静岡市議団や県委員会、静岡地区委員会の人たちも参加しました。

危険なオスプレイ撤去を

党静岡県委員会が防衛省に要請

米軍のオスプレイが墜落した問題を受けて日本共産党静岡県委員会と周辺自治体の議員団は12日、米軍と自衛隊のオスプレイの運用停止、撤去を求めて防衛省に要請を行いました(左の写真)。御殿場市の高木理文市議、裾野市の岡本和枝市議、小山町の平野正紀町議が参加、もとむら伸子衆院議員と井上哲士参院議員が同席しました。



静岡・工場周辺調査 PFAS もとむら氏ら

静岡市清水区の化学工場での国の暫定目標値を超える発がん性物質PFAS(有機フッ素化合物)が検出された問題で14日、もとむら伸子衆院議員、井上哲士、山添拓両参院議員、すやま初美衆院東海比例候補、鈴木せつ子衆院静岡1区候補らが現地を調査しました。内田隆典、杉本護、寺尾昭、市川正の各静岡市議が同行しました。

元従業員や静岡市からも話を聞きまし。市役所では本田武志副市長や環境保全課の担当者らと懇談。市の10月の調査で工場周辺の水路で目標値の約5倍、周辺の井戸で最大2.6倍の値が検出されました。

三井・ケマーズフロロプロダクツ清水工場は2013年までPFASを使用し、敷地内で暫定目標値を超えるPFASが検出されています。一行は周辺の排水口などを視察し、もとむら氏は市に対し、会社は自らを汚染源と認めているか、工場敷地内の数値は知らされているかと質問しました。市は同社は過去に使用したことのみに認めている、数値は市に公表されていないと回答しました。夕方の地元メディアでも報道されました。

高木議員は「東富士演習場付近でもオスプレイなどの低空飛行が行われ、7日に米軍のドローンが行方不明になった。住民は不安を募らせている」と訴え。防衛省は住民の声を米軍に届けると表明しましたが陸自のオスプレイは防衛力強化に必要不可欠と答えました。事故を受けて、米軍と自衛隊のオスプレイの飛行は一時停止されています。

もとむら議員が宣伝 名古屋・栄 15日



もとむら伸子衆院議員は15日、党愛知県委員会と緊急街頭宣伝を行いました。県内の自民党国会議員も政治資金問題など次々に明らかになっています。訴えを聞いていた男性は「もう自民党は支持しない」と話していました。

もとむら議員は「政治を変えるため、総選挙で東海ブロックで、すやま初美さんとともに国会へ送ってほしい」と訴えました。



12月18日(月)ブロックいっせい宣伝に取り組み

